

奥州地区合同庁舎ほか暖房設備等運転管理業務仕様書

奥州地区合同庁舎ほか暖房設備等運転管理業務「以下「委託業務」という。」の実施に当たっては、消防法等関係法令を遵守するほか、この仕様書によるものとする。

1 業務委託範囲

暖房設備運転管理業務（本庁舎ボイラー技士1名、分庁舎ボイラー技士1名）

2 委託対象設備

【本庁舎】

種 別	形 式	最高使用出力 (KW{10 ³ kcal/h})	伝熱面積 (㎡)
真空式給湯暖房温水器	セクショナル	930	13.5

【分庁舎】

種 別	形 式	最高使用出力 (kg/cm ²)	伝熱面積 (㎡)
暖房用ボイラー	慣流ボイラー	10	9.85
給湯用ボイラー	—	—	—

3 運転管理を必要とする期間

4月1日から4月14日及び11月1日から翌年3月31日までの期間

4 運転管理を必要とする日は、3のうち、次に掲げる日を除いた日とする。

- (1) 土曜日及び日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- (3) 12月29日から翌年1月3日

ただし、凍結防止措置及び暖房効率確保のため、12月30日及び1月2日に各2時間運転をする。

5 運転管理時間

午前8時15分から午後5時までの時間とする。

ただし、熱源発生装置の起動及び停止作業はこれに含まない。

6 試運転

10月16日から10月31日まで（土日祝を除く。）のいずれかの日に暖房設備の試運転を4時間行い、正常に作動するかどうかの確認を行う。

なお、試運転終了後、速やかに試運転完了報告書（別記様式4）を提出して発注者の確認を受けるとともに、正常に作動しない場合は、速やかに発注者に報告を行うものとする。

7 委託業務内容

- (1) 庁舎各室の温度、湿度が適正に維持されるよう「ボイラー及び圧力容器安全規則」その他の関係法令を順守して、ボイラー及び付属施設の取扱操作を行うこと。
- (2) ボイラー及び付属施設が正常に機能するよう、別表の日常点検整備基準（本庁舎、分庁舎）により日常点検を実施すること。
- (3) 地下燃料タンク及びその配管の点検を、消防法その他の関係法令を順守して実施すること。
- (4) パッキンの交換、給油、ストレーナーの清掃等小整備を実施すること。
- (5) 各事務所等のファンコンベクターが正常な機能を維持するための見回り点検整備を行うこと。
- (6) ピット内及び天井内トラップ装置、エキスパンション及び水抜弁の作動状況を点検すること。
- (7) 業務終了後、暖房設備等運転管理業務日誌（別記様式1、2）を提出して発注者の確認を受けること。
- (8) 関係官公庁に対する諸届出業務を代行し、立ち入り検査時に立会すること。
- (9) その他点検整備基準に基づき維持管理及び小修繕をすること。

8 業務従事者及び業務責任者の資格要件

- (1) 業務従事者及び代行者は、次のア及びイの資格を有する者であること。
 - ア 特級ボイラー技士、一級ボイラー技士又は二級ボイラー技士
 - イ 甲種危険物取扱者又は乙種危険物取扱者（第4類）
- (2) 受注者は、管理者との連絡調整及び業務従事者の指揮監督を行わせるための業務責任者を選任すること。
- (3) 受注者は、契約締結後、速やかに業務責任者及び業務従事者名簿（別記様式3）を提出すること。業務従事者については、資格に係る免状等の写しを添付すること。なお、業務従事者等に変更があった場合も同様とすること。

9 臨機の措置

- (1) 点検の結果、故障その他不具合を発見したときは、速やかに発注者に報告し、その処置について協議を行うものとする。
- (2) 点検時以外においても故障等が発生した場合は、迅速かつ適切な対応を行うものとする。
- (3) 点検に際して設備等に破損を生じた場合は、原状復旧を行うこととする。

10 危険防止の措置

- (1) 業務の実施に当たっては常に整理整頓を行い、危険な場所には必要な安全対策を講じ、事故の防止に努める。
- (2) 業務を行う場所、もしくはその周辺に第三者が存する場合又は立ち入るおそれがある場合には、発注者と協議の上、危険防止に必要な措置を講じ事故の発生を防止する。

11 その他

- (1) 支給された消耗品及び予備品については、使用した数量を発注者に報告すること。
- (2) 業務従事者に変更が生じたときは、前日までに発注者に報告すること。
- (3) 巡回等により業務従事者がボイラー室に不在となるときは施錠を行うこと。
- (4) ボイラー運転中は、職員並びに来庁者の安全に留意すること。
- (5) ボイラー室に不必要な物品を持ち込まないこと。

[奥州地区合同庁舎（本庁舎・分庁舎） 建物面積調書]

建物概要

棟区分	階数	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)	備考
本庁舎	地上 3 階 塔屋 1 階	1,039.25	3,010.15	
分庁舎	地上 3 階 地下 1 階 塔屋 1 階	492.20	2,078.12	
附属棟	地上 1 階	226.80	226.80	
車庫	地上 1 階	404.80	363.80	
計		2,163.05	5,678.87	

別表

日常点検整備基準（本庁舎、分庁舎）

暖房設備の点検整備基準はメーカー発行の取扱要領によるもののほか、次の項目とする。

機 器 名	点 検 整 備 項 目	回 数
1 ボイラー附属機器及び燃焼装置、第1種圧力容器、水面計、フロートスイッチ自動給水発停用マグドネル、フレイムアイ、圧力計、温度計、ダンパー、圧力スイッチ、着火装置、インターロック回路	運転前の点検、作動テスト、機能テスト、運転中の監視、ブロー等の実施	毎 日
2 給水装置、水源、環水タンク、給水ポンプ、温水循環ポンプ	点検、作動状態の監視	毎 日
3 バキュームポンプ、圧力スイッチ、フロートスイッチ、ソレノイドバルブ	作動点検、調整	毎 日
4 地下燃料タンク、サービスタンク、ギヤーポンプ、配管等	状態点検	毎 日
5 ボイラー操作盤、各種モーター	作動点検	毎 日
6 各種ストレーナー	清掃	3ヶ月に1回
7 放熱器、放熱器弁、トラップ	状態点検	必要の都度
8 管末トラップ装置、ピット内配管	作動及び状態確認	3ヶ月に1回
9 バーナチップ、着火装置、ファン	確認	常 時
10 ボイラー炉、煙突	燃焼の状態、排ガスの監視及び記録	常 時
11 ボイラー室	室内の整理、整頓	常 時
12 その他	必要な点検整備	必要な都度

(別記様式1)

暖房設備等運転管理業務日誌

(本庁舎)

部 長	課 長	総 括 主 査	主 査	発 議 者	運 転 年 月 日	年 月 日()			天	候
受注者名		印		出勤	時	分	退庁	時	分	
区 分	運転開始			運転終了			運転時間			
	時 分			時 分			時 分			
	残数量		購入数量		計		本日使用量		残数量	
	L		L		L		L		L	
日 常 点 検	基準値		測定値			異常の有無				
	煤 煙 濃 度		0~20%		%		有 ・ 無			
			基 準			異常の有無				
	排 気 筒 の 煙 の 状 態		煙突から煙が出てないこと			有 ・ 無				
			基 準			異常の有無				
	バ ー ナ ー 状 態 (覗 窓 確 認)		炎はうす橙色で、炉内の見通しがよいこと			有 ・ 無				
			基準圧力範囲			異常の有無				
	缶 圧 力 計 の 状 態		0.03~0.1mpa			有 ・ 無				
			基 準			異常の有無				
	水 面 覗 き 窓 の 水 位		ガラスのスリットが見えないこと 水面は、ガラスの中央以上あればよいこと			有 ・ 無				
			基 準			異常の有無				
油 漏 れ の 確 認		ボイラ、油管等に油もれがないか			有 ・ 無					
1 月 点 検			検棒測定			異常の有無				
	地 下 タ ン ク 油 量 状 態		運転管理日誌の残量と一致 (点検は月1回とし、タンクの残量と管理日誌の残量との誤差が大きい場合は、原因究明するまで)			有 ・ 無				
そ の 他 異 常 の 有 無										
外 気 温		8:15 10:00 12:00 14:00 16:00 17:00			【暖房運転時間】					
異 常 個 所 等 の 修 理 内 容										

(別記様式2)

暖房設備等運転管理業務日誌

(分庁舎)

部 長	課 長	総 括 主 査	主 査	発 議 者	運 転 年 月 日	年 月 日()			天	候
受注者名		印		出勤	時	分	退庁	時	分	
日 常 点 検	区	分	運転開始		運転終了		運転時間			
	暖	房	用	時	分	時	分	時	分	
			運転開始		運転終了		運転時間			
	給	湯	用	時	分	時	分	時	分	
			残数量	購入数量	計	本日使用量	残数量			
	燃	料	L	L	L	L	L			
日 常 点 検			基準値	測定値		異常の有無				
	煤	煙	濃	度	0~20%	%	有 ・ 無			
			基 準		異常の有無					
	排	気	筒	の	煙突から煙が出てないこと		有 ・ 無			
	煙	の	状	態	基 準		異常の有無			
	バ	ー	バ	ー	炎はうす橙色で、炉内の見通しがよいこと		有 ・ 無			
	(覗 窓 確 認)		基 準		異常の有無					
	圧	力	計	態	5.0 kg/cm2 (手動)		有 ・ 無			
			基 準		異常の有無					
	油	漏	れ	の	ボイラ、油管等に油もれがないか		有 ・ 無			
			基 準		異常の有無					
	軟	水	チ	ェ	青または青に近い色であること		有 ・ 無			
			基 準		異常の有無					
	水	面	計	態	一定の水位にあるか		有 ・ 無			
		基 準		異常の有無						
ブ	ロ	ー	ー	基準のとおりとしているか		有 ・ 無				
1 月 点			検棒測定		異常の有無					
	地	下	タ	ン	運転管理日誌の残量と一致		している ・ していない			
油		量	状							
そ の 他 異 常 の 有 無										
外	気	温	8:15	10:00	12:00	14:00	16:00	17:00	【暖房運転時間】	
			----- ----- ----- ----- -----							
異 常 個 所 等 の 修 理 内 容										

年 月 日

県南広域振興局長 様

受注者

印

下記のとおり従事者を定めたので名簿を提出します。

業務従事者名簿				
従事期間	年 月 日 から 年 月 日まで			
従事者	氏名	年齢	住所	特記事項

※添付書類

- 1 履歴書（記載事項：氏名、生年月日、住所、直前3ヵ年の主な職歴）
- 2 ボイラー技士及び危険物取扱者の資格に係る免状等の写し

下記のとおり業務責任者を定めたので報告します。

業務責任者	
氏名	

試 運 転 完 了 報 告 書

県 南 広 域 振 興 局 長 様

住所

氏名

印

下記のとおり試運転が完了したので報告します。

記

業 務 名	
試 運 転 実 施 日	年 月 日
試 運 転 結 果	異常あり ・ 異常なし
備 考	